

## パソコンとネット回線の選び方

今回は、パソコンの選び方について解説したいと思います。

今回のお話は主に、これからパソコンを購入されるという方には必見になりますが、既にパソコンをお持ちだという方も、今一度ご自分のパソコンのスペックは問題ないかをご確認するつもりで、しっかりと学んでいただければと思います。

それでは、張り切って参りましょう！

よく生徒さんから、「MacとWindowsはどちらがいいですか？」と聞かれますが、結論から言いますと、動画や画像を扱うには、Macが圧倒的に使いやすいです。

# Mac vs. PC



なぜかというと、Macというのは元々、動画や画像を編集する、いわゆるクリエイターのために作られたパソコンだからです。

そのため、Macは動画や画像の処理能力が非常に優れていて、サクサクと快適に作業をこなすことができます。

一方Windowsは、動画や画像を扱うというよりかは、ワープロや表計算などの、いわゆる「オフィス向き」に作られたパソコンです。

なので、これから動画をバンバン作って、YouTubeにバンバン上げていくあなたにとっては、WindowsよりもMacの方がお勧めだとです。

ただし、Macには一つ、重大なデメリットがあります。

それは、価格が高いということです。

Windowsの平均価格が10万円に対して、マックの平均価格は20万円ほどになります。


ほぼ倍の価格ですよ。

なので、そんなに予算がないという方は、Windowsでも動画は作れ

るので安心してください。

ではここで、動画を作る上での理想的な、パソコンのスペックについて解説したいと思います。

まずはMacです。

 Mac版 動作環境	
OS	Mac OS Xバージョン10.9 「Mavericks」 以上
CPU	1.6GHz 以上
メモリ	4GB以上
ハードディスク	10GB 以上の空き容量（500GB以上を推薦）

Macの場合は、まずOSは、2013年に発売された「マーベリックス」以降のものが理想です。

つまり、Macを中古で買う場合は、「2013年以降の機種を選んでください」ということになります。

次にCPUですが、Macの場合は、1.6GHz以上のものを推奨しています。

CPUがよく分からないという方は、購入する時に店員さんに「CPUは1.6GHz以上のものをお願いします」と言えば、選んでくれるはずです。

次にメモリですが、メモリは最低でも4Gのを選んでください。

2013年以降のMacを選べば、だいたい4Gは入っていると思いますが、念のためメモリも確認してから購入してください。

次に、ハードディスクです。

ハードディスクは、OSが入った状態で、空き容量が10G以上あればOKです。

動画の場合ほとんどは、別売りの外付けハードディスクに保存することになるので、ハードディスクに関しては、あまり神経質にならなくても大丈夫です。

ちなみに、最近のMacは、最低でも128GのハードディスクまたはSSDが入っているので、普通に購入をして、別売りの外付けハードディスクを購入して、そこへ動画を保存すればOKです。

ちなみに、外付けハードディスクの価格ですが、最近ではかなり安くなっていて、2TBのもので、だいたい1万円以内で買えるようです。

では次に、Windowsのスペックについて解説します。

Windows版 動作環境	
OS	Windows8 以上
CPU	2.0GHz 以上
メモリ	4GB以上
ハードディスク	10GB 以上の空き容量（500GB以上を推薦）

Windowsの場合のOSは、最低でもWindows 8 以上が理想になります。

Windows 7 でも、動画は動かすことはできますが、Windows 7 はサポートが既に終了していて、セキュリティ的に問題があるので、あまりお勧めできません。

最低でもWindows 8 以上のものを推奨しています。

WindowsのCPUは、Macのものよりも、少し強力なものをお勧め

しています。

なぜかというところ、冒頭でもお話ししましたが、WindowsはMacに比べて処理能力が少し劣るからです。

Macが1.6GHz以上に対して、Windowsは2.0GHz以上あると快適に使えます。

CPUに関しては、よく「CORE」シリーズがいいですか？

という質問を受けますが、確かにCOREシリーズは他のものと比べて処理速度は速いです。

でもですね、COREシリーズは少し価格が高いので、そんなにこだわらなくてもいいと思います。

2.0GHz以上あれば、COREシリーズのものでもなくても大丈夫です。

次にメモリですが、こちらもMac同様4 G以上あればOKです。

Windowsの場合はMacと違って、ほとんど機種が、あとからメモリを増設することが可能なので、まずは4 Gのものを購入して、少し動作が遅いなーと感じたら、あとからさらに4 Gを増設すればいいと思います。

ちなみに、増設メモリの価格ですが、これは機種によって様々ありますが、4 Gで、だいたい3,000円から5,000くらいが相場のようなようです。

次にハードディスクですが、ハードディスクもWindowsの場合はMac同様、外付けハードディスクがあれば、あまり神経質にならなくても大丈夫です。

別売りの外付けハードディスクをメインに使ってください。

以上が、パソコンのスペックについての解説でしたが、いかがだったでしょうか？

パソコンに関しては非常に重要なアイテムなので、いざ買ってみたら動画が動かなかったということにならないように、しっかりと覚えておいてください。

それと、パソコンのスペック以外にもう一つ、非常に大事なことがあります。

それは、インターネットの回線です。

たまに生徒さんから「先生、YouTubeに動画をアップすると、何時間もかかるんです」という質問を受けることがありますが、そういう人に、詳しく話を聞いてみると、ほとんどの人が「スマホのレザリングを使ってます」とか、「ポケットWi-Fiを使ってます」と言います。

なので、動画を扱う場合のインターネット回線は、スマホやポケットWi-Fiではなく、ズバリ、光回線をお勧めしています。



光回線は、かなり速いです。



どのくらい速いかといいますと、

例えば、ポケットWi-Fiで約1時間かかる動画を、光回線ではだいたい10分以内でアップすることが可能です。

それだけ光回線は速いです。



あと、「繋ぐだけで簡単インターネット」という商品があるんですけど、これも、ポケットWi-Fiほどではありませんが、結構遅いので注意してください。

それともう一つ、せっかく光回線を引いても、光回線とパソコンを

つなぐ「ルーター」という機械があるんですが、そのルーターが光回線に対応していないと光回線の意味が無くなります。



つまり、光回線に対応していないルーターを使うと遅くなります。  
なので、光回線を引いたら必ず、ルーターも光回線に対応したものにしてください。

以上がパソコンのスペックと、インターネット回線についての解説  
でしたが、いかがだったでしょうか？

この2つのことは、これからあなたが動画をバンバン作って、  
YouTubeにバンバンアップロードする時に、非常に重要なアイテム  
になりますので、ぜひ覚えておいてください。